

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～2月実績、3月～5月見通し）

	3月	4月	5月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉

- 対前年 105%以上水準
- 対前年 100%以上-105%未満
- 対前年 95%以上-100%未満
- 対前年 90%以上-95%未満
- 対前年 90%未満水準

		上期計	11月(実績)	12月(実績)	1月(実績)	2月(実績)	3月(予測)	下期計	年度計	4月(予測)	5月(予測)	3月-5月	
		空路	国内	3,965,800	661,000	645,900	599,500	638,700	740,000	4,006,400	7,972,200	660,000	620,000
	海外	1,057,600	157,300	162,700	169,000	173,100	177,000	1,020,800	2,078,400	175,000	176,000	528,000	
	合計	5,023,400	818,300	808,600	768,500	811,800	917,000	5,027,200	10,050,600	835,000	796,000	2,548,000	
当年度	海路	国内	29,200	1,800	2,300	1,600	2,100	6,400	18,100	47,300	3,400	4,200	14,000
		海外	482,600	74,400	51,900	65,700	46,300	58,000	375,500	858,100	73,000	32,000	163,000
		合計	511,800	76,200	54,200	67,300	48,400	64,400	393,600	905,400	76,400	36,200	177,000
	空路海路合計	5,535,200	894,500	862,800	835,800	860,200	981,400	5,420,800	10,956,000	911,400	832,200	2,725,000	
	国内合計	3,995,000	662,800	648,200	601,100	640,800	746,400	4,024,500	8,019,500	663,400	624,200	2,034,000	
	海外合計	1,540,200	231,700	214,600	234,700	219,400	235,000	1,396,300	2,936,500	248,000	208,000	691,000	
前年度比	空路	国内	104.1%	104.5%	105.8%	106.1%	105.7%	103.9%	105.1%	104.6%	106.8%	105.4%	106.0%
		海外	144.1%	133.3%	124.3%	113.9%	132.8%	128.3%	129.3%	136.5%	104.0%	105.6%	121.4%
		合計	110.6%	109.0%	109.1%	107.7%	110.5%	107.8%	109.2%	109.9%	106.2%	105.4%	108.9%
	海路	国内	149.7%	40.9%	127.8%	94.1%	105.0%	173.0%	92.8%	121.3%	113.3%	33.1%	76.1%
		海外	121.0%	131.9%	70.9%	96.3%	103.6%	99.3%	101.6%	111.7%	78.2%	42.7%	91.6%
		合計	122.3%	125.3%	72.3%	96.3%	103.6%	103.7%	101.2%	112.1%	79.3%	41.3%	90.1%
	空路海路合計	111.6%	110.3%	105.7%	106.7%	110.1%	107.5%	108.6%	110.1%	103.3%	98.8%	107.4%	
	国内合計	104%	104%	106%	106%	106%	104%	105%	105%	107%	104%	106%	
	海外合計	136%	133%	105%	108%	125%	120%	120%	128%	95%	86%	113%	

■概況

国内入域：

- ・沖縄の魅力発信や旅行需要の高まりを背景に、国内線は好調に推移している。年度では国内空路入域客数は、過去最高であった2024年度（762万人）を上回る水準で推移する見込みである。
- ・3月は卒業旅行を中心とした個人旅行の需要が旺盛であり、4月以降も旅行商品のタイムセール等の影響による予約の早期化が進んでいることから、予約状況は堅調に推移している。
- ・ゴールデンウィークは、特に休日が連続する5月2日以降は需要が高まっており、好調に推移している。

海外入域：

- ・空路は台湾および韓国を中心に需要が好調に推移しており、海外空路入域客数は過去最高であった2018年度（180万人）を上回る水準で推移する見込みである。
- ・3月29日以降の夏ダイヤでは、那覇空港および石垣空港、下地島空港発着の国際線の新規就航・増便を予定しており、さらなる入域者数の増加が見込まれる。（詳細は、次ページご参照）
- ・海路は台湾・香港発のクルーズを中心に堅調に推移しているものの、5月については寄港回数が減少しているため入域者数も前年より減少している。
- ・一方、中国の渡航自粛要請に伴い、空路における団体旅行のキャンセルや一部路線の運休、クルーズ船寄港のキャンセルなどの影響が生じている。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況 (25年4月～2月実績、3月～5月見通し)

3月

空路

(国内) 74万人 (25年3月対比 103.9%) と見込む。

(海外) 17.7万人 (25年3月対比 128.3%) となる見通し。

台中 = 那覇路線

(新)タイガーエア : 3月30日～ 新規就航 (週2便 那覇着 月金/那覇発 火木)

香港 = 那覇路線

香港エクスプレス : 3月29日～ 1便増便 (1日2便→3便)

上海 = 那覇路線

中国東方航空 : 3月29日～ 週3便から週2便へ減便

北京 = 那覇路線

中国国際航空 : 3月29日～10月24日 週2便から運休

香港 = 石垣路線

香港エクスプレス : 3月29日～ 運航再開 (デイリー)

仁川 = 石垣路線

ジンエアー : 3月29日～ 週5便からデイリーへ増便

仁川 = 下地島路線

ジンエアー : 3月29日～ 週5便からデイリーへ増便

海路

(国内) 6,400人 (25年3月対比 173%) の見通し。

(海外) 5.8万人 (25年3月対比 99.3%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数 : 25本 (25年3月 : 23本)

国内クルーズ : 3本 (那覇・東京・博多発) 那覇発着のフライ&クルーズ1本含む

海外クルーズ : 22本 (台湾/基隆・香港・中国/上海・マニラ・シンガポール) 石垣港・平良港のみ寄港5本。

4月

空路

(国内) 66万人 (25年4月対比 106.8%) と見込む。

(海外) 17.5万人 (25年4月対比 104%) となる見通し。

高雄 = 那覇路線

チャイナエアライン : 4月17日～ 週6便からデイリーへ増便 (※便名別)

シンガポール = 那覇路線

スクート : 4月2日～ 週3便から週4便 (月水木日) へ増便

釜山 = 下地島路線

(新)ジンエアー : 4月2日～ 新規就航 (週2便 木日)

海路

(国内) 3,400人 (25年4月対比 113.3%) となる見通し。

(海外) 7.3万人 (25年4月対比 78.2%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数 : 26本 (25年4月 : 30本)

国内クルーズ : 2本 (東京発)

海外クルーズ : 24本 (台湾/基隆・香港・シンガポール・LA) 石垣港・平良港のみ寄港は6本。

5月

空路

(国内) 62万人 (25年5月対比 105.4%) と見込む。

(海外) 17.6万人 (25年5月対比 105.6%) となる見通し。

海路

(国内) 4,200人 (25年5月対比 33.1%) となる見通し。

(海外) 3.2万人 (25年5月対比 42.7%) となる見通し。

クルーズ船寄港本数 : 14本 (25年5月 : 22本)

国内クルーズ : 2本 (東京・横浜発)

海外クルーズ : 12本 (台湾/基隆・香港・中国/上海)

石垣港・平良港のみ寄港は2本。

(空路) 国内 : 県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、
観光客の混在率をかけたもの

海外 : 海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内 : 乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外 : 乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

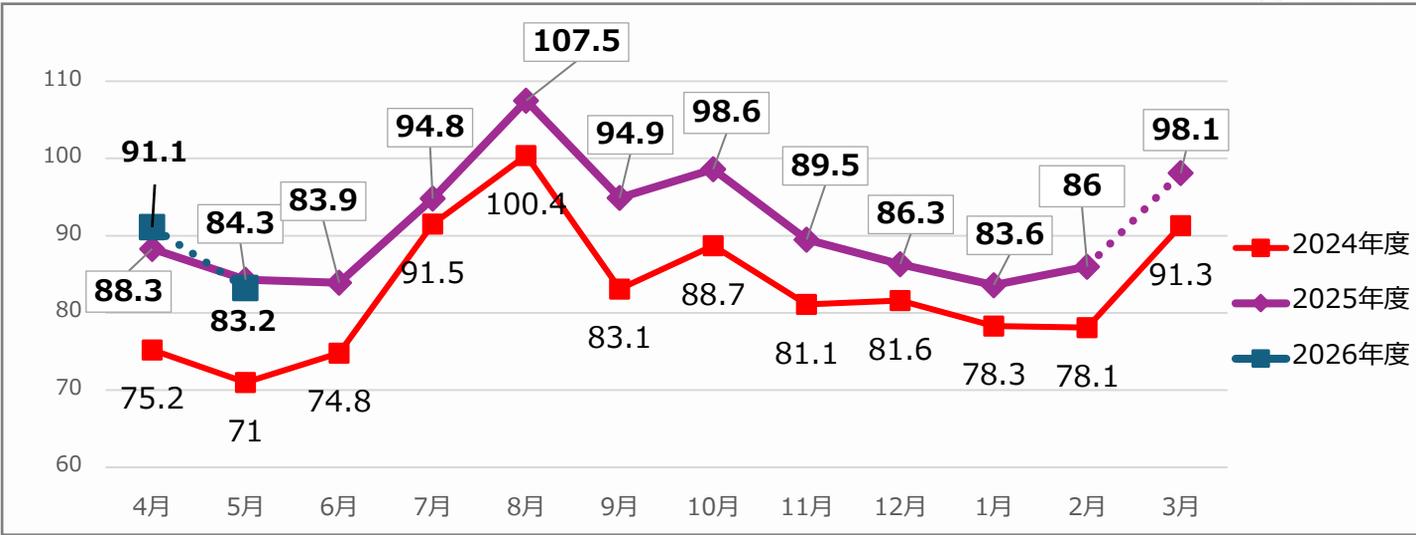
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況について

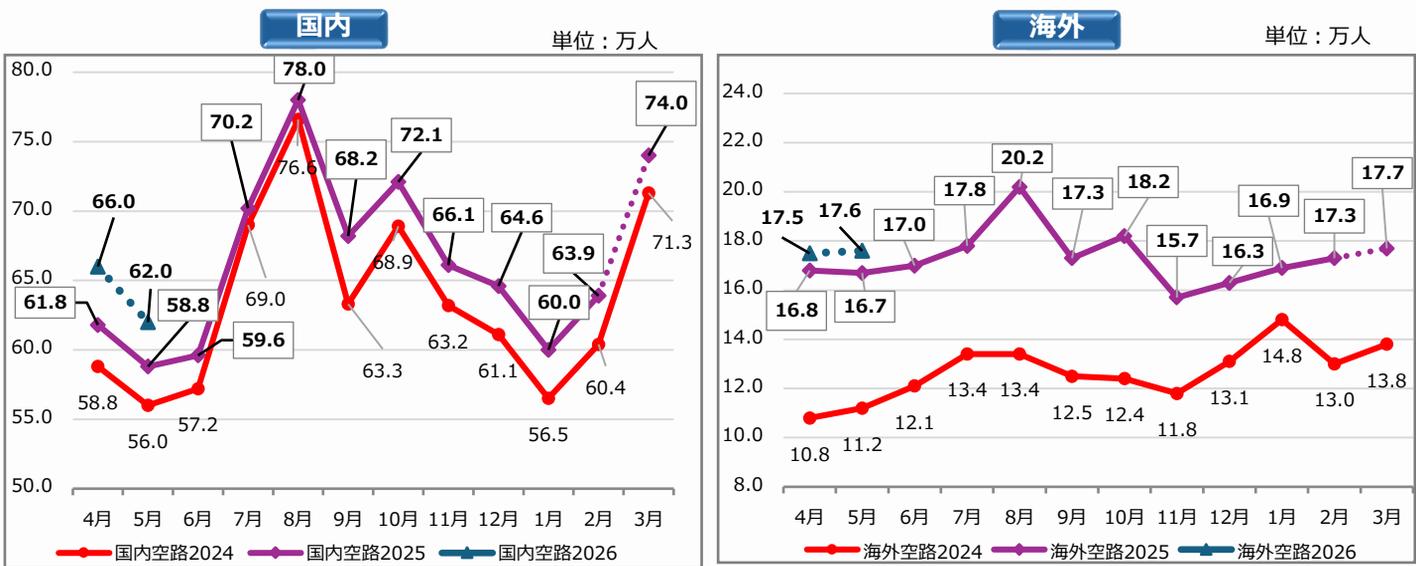
2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客（合計）

単位：万人



入域観光客（空路）



入域観光客（海路）

